

設定

はじめに

機能やアプリの設定をカスタマイズします。さまざまなオプションにより本機を自分用に設定できます。

アプリ画面で「設定」をタップします。

キーワードで設定を検索するには「検索」をタップします。

よく使用する設定をクイック設定として登録・編集するには「編集」をタップします。そしてクイック設定に登録したい項目のチェックボックスにチェックをつけます。

Wi-Fi

Wi-Fiネットワークに接続する

Wi-Fiを有効化してWi-Fiネットワークに接続し、インターネットや他のネットワーク機器にアクセスします。



- ・ 本機は非調和周波数を使用していて、すべての欧州諸国での使用を想定しています。EUではWLANの室内での使用に規制はありませんが、屋外での使用はできません。
- ・ 使用していないときはWi-Fiを無効にしてバッテリー消費を抑えてください。

- 1 設定画面で「Wi-Fi」をタップしてからスイッチをタップして有効化する
- 2 Wi-Fiネットワークリストからネットワークを選択する
パスワードが必要なネットワークにはロックアイコンが表示されます。

3 「接続」をタップする



Wi-Fiネットワークに1回接続すると、以降はそのネットワークが使用可能な時はパスワードを入力しなくてもそのネットワークに再接続されます。ネットワークに自動的に接続しないようにするには、そのネットワークをリストから選択して「切断」をタップします。

Wi-Fi Direct

Wi-Fi Directは機器どうしをアクセスポイント無しで直接Wi-Fiネットワーク経由で接続します。

1 設定画面で「Wi-Fi」をタップしてからスイッチをタップして有効化する

2 「Wi-Fi Direct」をタップする

検出された機器のリストが表示されます。

接続したい機器がリスト内に無い場合は、その機器のWi-Fi Direct機能を有効化してください。

3 接続先の、機器を選択する

接続先の機器がWi-Fi Direct接続要求を受け付けると接続されます。

データの送受信をする

他の機器と連絡先やメディアファイルなどのデータを共有することができます。以下は画像を他の機器に送信する場合の操作例です。

1 アプリ画面で「ギャラリー」をタップする

2 画像を選択する

3 「共有」→「Wi-Fi Direct」をタップし、画像の送信先の機器を選択してから「共有」をタップする

4 他方の機器でWi-Fi Direct接続要求を受け付ける

すでに他方の機器と接続している場合は、接続要求手順を踏まずに画像が送信されます。

機器の接続を終了する

- 1 設定画面で「Wi-Fi」をタップする
- 2 「Wi-Fi Direct」をタップする
接続されている機器のリストが表示されます。
- 3 機器名をタップしてその機器との接続を切断する

Bluetooth

はじめに

Bluetooth機能を備えた他の機器とデータやメディアファイルを送受信できます。



- Bluetoothで送受信したデータの損失、妨害や誤使用について、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。
- データの交換や共有は、信用できてセキュリティが十分確保されている機器と行うようにしてください。機器間に障害物がある場合、接続可能距離が短くなる場合があります。
- Bluetooth SIGにより実験や認証されていない機器は本機と接続できない可能性があります。
- 著作権侵害となるファイルのコピー、商用目的のための違法な通信盗聴など、違法な目的で Bluetooth を使用しないでください。

Bluetooth機能の不正利用による影響について当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

他のBluetooth機器とペアリングする

- 1 設定画面で「Bluetooth」をタップしてからスイッチをタップして有効化する
検出された機器のリストが表示されます。
- 2 ペアリングする機器を選択する
以前ペアリングした機器であれば、自動生成されるパスキーを確認しなくても、機器名をタップするだけでペアリングできます。
ペアリングしようとする機器が一覧に表示されない場合、他方の機器を設定して公開されるようにします。他方の機器のユーザーガイドを参照してください。



Bluetooth設定画面が開いている間、本機は他の機器から参照可能です。

- 3 本機上でBluetooth接続要求を受け付ける
接続先の機器がBluetooth接続要求を受け付けると両デバイスが接続されます。

データの送受信をする

多数のアプリでBluetoothでのデータ送受信ができます。他のBluetooth機器と連絡先やメディアファイルなどのデータを共有することができます。以下は画像を他の機器に送信する場合の操作例です。

- 1 アプリ画面で「ギャラリー」をタップする
- 2 画像を選択する
- 3 「共有」→「Bluetooth」をタップし、画像を送信する機器を選択する
ペアリングしようとする機器が一覧に表示されない場合、他方の機器を設定して公開されるようにする。
- 4 他方の機器でBluetooth接続要求を受け付ける

ペアリングを解除する

- 1 設定画面で「Bluetooth」をタップする
ペアリング済みの機器が一覧表示されます。
- 2 ペアリングを解除したい機器の  をタップする
- 3 「ペアリングを解除」をタップする

機内モード

機内モードにすると、本機の無線接続機能が無効になります。非ネットワークサービスだけが利用可能になります。設定画面で「機内モード」をタップしてください。

データ使用量

データ使用量を確認し、制限の設定をカスタマイズします。

設定画面で「データ使用量」をタップします。

- ・ **モバイルデータ**: モバイルネットワークでデータ接続を使用するために本機を設定します。
- ・ **モバイルデータ制限を設定**: モバイルデータ使用の制限を設定します。

モニター期間の月ごとのリセット日を変更するには ▼ → 「サイクルを変更」をタップします。

データ使用量を制限する

- 1 設定画面で「データ使用量」をタップしてから「モバイルデータ制限を設定」スイッチをタップして有効化する
- 2 制限調整バーを上下にドラッグして制限を設定する
- 3 警告調整バーを上下にドラッグしてデータ使用量警告レベルを設定する
警告レベルに達すると警告が発せられます。

モバイルネットワーク

モバイルネットワークの設定を行います。

設定画面で「モバイルネットワーク」をタップします。

- ・ データローミング: ローミング中にデータ接続を使用するための設定を行います。
- ・ APN: アクセスポイント名 (APN) をセットアップします。
- ・ ネットワークモード: ネットワークタイプを選択します。
- ・ ネットワーク運用業者: 利用可能なネットワークを検索し、手動でネットワークを登録します。

NFC/おサイフケータイ設定

はじめに

本機では製品情報を含む近距離無線通信 (NFC) タグの読み込みが可能です。また、必要なアプリをダウンロードすると、この機能を支払に使用すること、および交通機関やイベントのチケットの購入が可能になります。



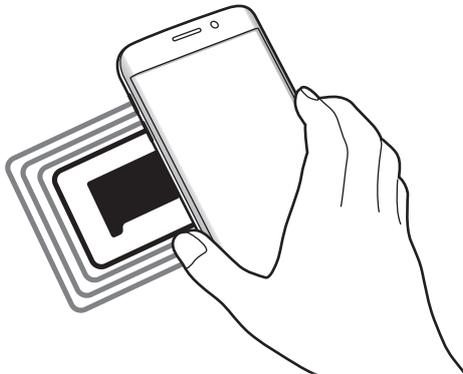
本機にはNFCアンテナが付いています。NFCアンテナを損傷しないように注意して本機を使用してください。

NFC/おサイフケータイ機能を使用する

NFC/おサイフケータイ機能を使用して画像や連絡先を他の機器に送信すること、およびNFCタグから製品情報を読み取ることができます。支払い機能を持つUSIMカードを挿入しておくことにより、本機を使用して簡単に支払いができるようになります。

- 1 設定画面で「NFC/おサイフケータイ設定」→「NFC/おサイフケータイロック」をタップしてからスイッチをタップして有効化する

- 2 本機の背面にあるNFCアンテナをNFCタグの近くに持っていき、タグの情報が表示されます。



 本機の画面がロックされていないことを確認してください。ロックされているとNFCタグの読み込みやデータ受信が行われません。

NFC/おサイフケータイ機能により支払いをする

NFC/おサイフケータイ機能により支払いをするにはモバイル支払サービスに登録する必要があります。このサービスへの登録方法やその他詳細に関してはご加入のサービス提供者にお問い合わせください。

- 1 設定画面で「NFC/おサイフケータイ設定」→「NFC/おサイフケータイロック」をタップしてからスイッチをタップして有効化する
- 2 本機の背面にあるNFCアンテナをNFCカード読み取り機にかざす

標準の支払いアプリを設定するには、設定画面を開いて「NFC/おサイフケータイ設定」→「タップ&ペイ」をタップしてからアプリを選択します。

 支払いサービス一覧に表示されない利用可能な支払いアプリが存在する場合があります。

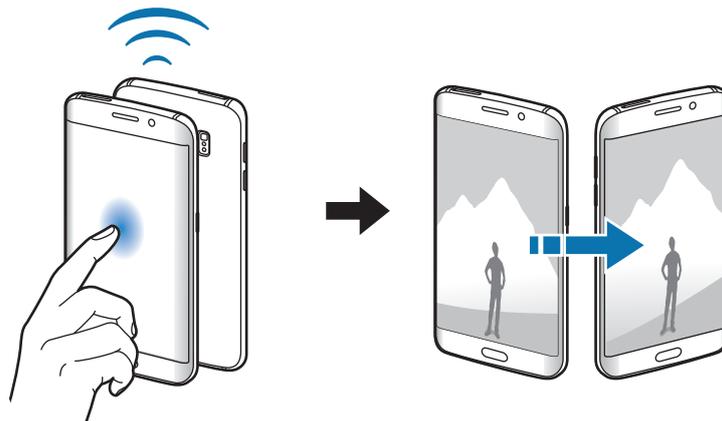
データを送信する

本機のNFCアンテナを他の機器のNFCアンテナにかざすことによりデータを交換できるようにします。

- 1 設定画面で「NFC/おサイフケータイ設定」→「NFC/おサイフケータイロック」をタップしてからスイッチをタップして有効化する
- 2 「Android Beam」をタップしてからスイッチをタップして有効化する
- 3 アイテムを選択して他方の機器のNFCアンテナを本機のNFCアンテナにかざす以降は画面の指示に従います。



両方のデバイスが同時にデータを送信しようとした場合にファイル転送が失敗することがあります。



その他の接続設定

オプション

設定によりその他の機能をカスタマイズします。

設定画面で「その他の接続設定」をタップします。

- **印刷**: 本機にインストールされているプリンタープラグインを設定します。ファイルを印刷するために、使用可能なプリンターを検索、または手動でプリンターを追加できます。詳細は、「[印刷](#)」を参照してください。
- **MirrorLink**: MirrorLink機能により車載機器モニターにインストールしてある本機のMirrorLinkアプリを操作します。詳細は、「[MirrorLink](#)」を参照してください。
- **ハイブリッドダウンロード**: Wi-Fiとモバイルネットワークを同時に使用することにより30 MBを超えるファイルを高速でダウンロードできるように設定します。詳細は、「[ハイブリッドダウンロード](#)」を参照してください。
- **VPN**: 仮想プライベートネットワーク (VPN) への接続のための設定を行います。
- **標準メッセージアプリ**: メッセージ機能のための標準アプリを選択します。

印刷

本機にインストールされているプリンタープラグインを設定します。本機をWi-FiまたはWi-Fi Direct経由でプリンターに接続して画像や文書を印刷できます。



本機と互換性のないプリンターもあります。

プリンタープラグインの追加

接続したいプリンターのプリンタープラグインを追加します。

- 1 設定画面で「その他の接続設定」→「印刷」→「プラグインをダウンロード」をタップする
- 2 Playストアでプリンタープラグインを検索する
- 3 プリンタープラグインを選択してインストールする

4 プリンタープラグインを選択してからスイッチをタップして有効化する

本機が接続しているWi-Fiネットワークと同じネットワークに接続しているプリンターが検索されます。

印刷内容

画像や文書などの印刷可能な内容を表示中に、「共有」→「印刷」→▼→「全てのプリンター」をタップしてからプリンターを選択します。

MirrorLink

本機を車と接続して、車載機器モニターにインストールしてあるMirrorLinkアプリを操作します。

設定画面で「その他の接続設定」→「MirrorLink」をタップします。



本機はMirrorLinkバージョン 1.1 以上をサポートする車と互換性があります。

MirrorLinkで本機を車と接続する

この機能を初めて使用するときは、本機をWi-Fiまたはモバイルネットワークに接続します。

1 本機と車をBluetoothでペアリングする

さらに詳細については「[他のBluetooth機器とペアリングする](#)」を参照してください。

2 本機と車をUSBケーブルで接続する

接続されている場合は、車載機器モニターにインストールしてある本機のMirrorLinkアプリにアクセスします。

MirrorLink接続を終了する

本機と車からUSBケーブルを取り外します。

ハイブリッドダウンロード

Wi-Fiとモバイルネットワークを同時に使用することにより30 MBを超えるファイルを高速でダウンロードできるように設定します。強力な信号能力を持つWi-Fiではより高速なダウンロードが可能です。

設定画面で「その他の接続設定」→「ハイブリッドダウンロード」をタップします。



- ・機種によっては本機能がサポートされていません。
- ・モバイルネットワーク経由でダウンロードを行うと追加料金が生じる場合があります。
- ・サイズの大きなファイルをダウンロードするときに本機の温度が上がる場合があります。本機の温度が設定値を超えると、本機能が中止されます。
- ・ネットワーク信号が不安定なとき、本機能の速度と性能に影響する場合があります。
- ・Wi-Fiとモバイルネットワークのデータ転送速度に大きな差があるときは速いほうの接続のみを使用する場合があります。
- ・本機能はハイパーテキスト転送プロトコル(HTTP) 1.1およびハイパーテキスト転送プロトコルセキュア(HTTPS)をサポートします。FTPなどの他のプロトコルで本機能を使用することはできません。

サウンドと通知

本機のさまざまなサウンドの設定を変更できます。

設定画面で「サウンドと通知」をタップします。

- ・ **サウンドモード**: 本機をサウンドモードまたはマナーモードに設定します。
- ・ **音量**: 着信音、音楽とビデオ、システムサウンド、通知の音量を調節します。
- ・ **着信音とサウンド**: 着信音とシステムサウンドの設定を変更します。
- ・ **バイブ**: バイブの設定を変更します。
- ・ **音質とエフェクト**: サウンドの詳細設定を行います。
- ・ **通知をミュート**: 一部の許可した例外を除き、着信音や通知音をミュートします。

- **ロック画面の通知**:通知内容をロック画面に表示するかどうかを設定します。
- **アプリ通知**:各アプリの通知設定を変更します。
- **LEDインジケーター**:充電中、通知があるとき、または音声メモ録音中に、LED表示をするように設定します。

ディスプレイ

ディスプレイの設定を変更します。

設定画面で「ディスプレイ」をタップします。

- **明るさ**:ディスプレイの明るさを調節します。
- **フォント**:文字サイズとフォントタイプを変更します。
- **画面のタイムアウト**:バックライトが消えるまでの時間を設定します。
- **スマートステイ**:画面を見ている間はバックライトがOFFにならないように設定します。
- **画面モード**:画面モードを変更して画面の色とコントラストを調節します。
- **スクリーンセーバー**:本機が充電中またはデスクトップドックに接続中にスクリーンセーバーを起動します。

エッジスクリーン

エッジスクリーンの設定を変更します。詳細は、「[エッジスクリーン](#)」を参照してください。

設定画面で「エッジスクリーン」をタップします。

- **Edge lighting**:本機の画面が下向きの状態で電話または通知を受信したときにエッジスクリーンが点灯するように設定します。
- **People edge**:優先度の高い連絡先からの未読の通知があるときに指定した色のタブがエッジスクリーンに表示されるように設定します。
- **通知を選択**:発色と色つきタブによりエッジスクリーン上に通知するアイテムを選択します。

- ・ **情報ストリーム**: ニュースなどのさまざまなアイテムをエッジスクリーン上に表示するように設定します。
- ・ **ナイトクロック**: エッジスクリーンを夜間に時計として使用できるように設定します。ナイトクロックの継続時間を設定することができます。
- ・ **エッジスクリーンの位置**: 好みに応じて右または左のエッジスクリーンを有効にします。

モーションとジェスチャー

モーションとジェスチャー機能を有効化して多様な機能を実行できます。

設定画面で「モーションとジェスチャー」をタップします。



本機を過度に振ったり衝撃を与えたりすると意図しない入力に繋がる場合があります。適切な動作を行ってください。

- ・ **ダイレクトコール**: 電話、メッセージ、連絡先の情報を参照しているときに本機を耳元に持っていくと音声電話を発信するように設定します。
- ・ **スマートアラート**: 本機を手にとった時に不在着信や新着メッセージがある場合に通知するように設定します。



画面がONになっているときや本機が平らな場所に置かれていないときは本機能が動作しない場合があります。

- ・ **消音**: 手のひらのモーションや画面を下向きに本機を置くことにより着信音やアラームを消音するように設定します。
- ・ **手のひらでキャプチャ**: 手の側面を画面から離さずに、端から端までスワイプすることで画面をキャプチャできるように設定します。キャプチャした画像は「ギャラリー」で参照できます。



一部のアプリでは画面のキャプチャの取り込みはできません。

アプリケーション

本機のアプリを管理し、アプリの設定を変更します。

設定画面で「アプリケーション」をタップします。

- ・ **アプリケーション管理**: 本機のアプリを参照し管理します。
- ・ **標準アプリケーション**: アプリを使用するための標準設定を選択します。
- ・ **アプリケーション設定**: 各アプリの設定をカスタマイズします。

壁紙

ホーム画面とロック画面の壁紙設定を変更します。

設定画面で「壁紙」をタップします。

テーマ

さまざまなテーマを使用してホーム画面、ロック画面、アイコンの表示要素を変更します。

設定画面で「テーマ」をタップします。

テーマをさらにダウンロードするには「ストア」をタップします。

ロック画面とセキュリティ

オプション

本機とUSIMカードのセキュリティの設定を行います。
設定画面で「ロック画面とセキュリティ」をタップします。



使用できるオプションは選択されている画面ロック方法により異なる場合があります。

- **画面ロックの種類**:画面ロック方法を変更します。
- **情報を表示**:ロック画面で表示されるアイテムの設定を変更します。
- **ロック解除エフェクト**:ロック解除時の効果を選択します。
- **指紋認証**:本機のセキュリティとGalaxyアカウントへのログインの安全確保のために指紋を登録します。詳細は、「[指紋認証](#)」を参照してください。
- **端末の保護**:本機をスキャンしてマルウェアを除去します。リアルタイムスキャン機能を有効化してフィッシング攻撃や悪意のあるWebサイトから本機を保護できます。
- **端末リモート追跡サービス**:端末リモート追跡サービスを有効化または無効化します。この機能は本機を失くしたときにどこにあるかを探索するために使用します。端末リモート追跡サービスのWebサイト (<https://findmymobile.samsung.com/login.do>) で失くした本機や盗難にあった本機を探索したりコントロールしたりできます。
- **提供元不明のアプリ**:提供元が不明のアプリをインストールできるように設定します。
- **その他のセキュリティ設定**:セキュリティの詳細設定を行います。

指紋認証

指紋認証をするには、ご自身の指紋を登録して本機に保存しておく必要があります。登録後は、設定により以下の機能に指紋を使用することができます。

- ・ 画面ロック
- ・ Webサインイン
- ・ Galaxyアカウントを認証



- ・ この機能は地域やサービス提供者によっては使用できない場合があります。
- ・ 指紋認識は個々の指紋の特徴を利用して本機のセキュリティを強化する機能です。指紋センサーが2つの異なる指紋を混同する可能性は非常に低いです。しかしながらごく稀に非常に類似した指紋が同一のものと誤認されることがあります。

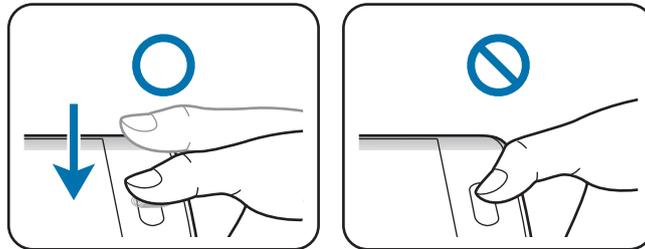
指紋を正しく認識させるために

本機で指紋をスキャンするときは以下の条件に留意してください。本機能の性能に影響する可能性があります。

- ・ ホームキーには指紋センサーが設けられています。硬貨、鍵、ネックレスなどの金属でホームキーを傷つけたり破損したりしないでください。
- ・ 本機付属の画面保護シートによって指紋センサーが誤作動する場合があります。指紋感度を高めるため、画面保護シートをはがしてください。
- ・ 指紋センサーの表面を清掃し指をきれいにしたうえでご使用ください。
- ・ しわや傷がある指紋は認識できない場合があります。
- ・ 小さい指または細い指の指紋は認識できない場合があります。
- ・ 指を曲げて指先をセンサーにあてると指紋が認識されない場合があります。ホームキー全体を指で覆うようにしてください。
- ・ 認証性能向上のため、本機で一番頻繁に操作を行う手の指紋を登録してください。
- ・ 乾燥した環境では静電気が本機に蓄積する場合があります。乾燥状態では本機能を使用しないでください。または、本機能をご使用になる前に金属物に触って静電気を放電してください。

指紋を登録する

- 1 設定画面で「ロック画面とセキュリティ」→「指紋認証」→「指紋を追加」をタップする
- 2 ホームキーの上に指を置く



- 3 本機が振動したら、いったん指を離してから再度ホームキーに指を置く
同じ指で指紋が登録されるまでこの動作を繰り返します。
- 4 画面にバックアップパスワードの登録を要請する表示があったら、バックアップパスワードを入力してから「続行」をタップする
- 5 確認のためにもう一度バックアップパスワードを入力してから「OK」をタップする
指紋をスキャンする代わりにバックアップパスワードを使用することもできます。
- 6 指紋ロック画面が表示されたら「OK」をタップする。指紋を使用して画面のロックを解除することができます

指紋登録を削除する

指紋マネージャーを使用して登録されている指紋を削除することができます。

- 1 設定画面で「ロック画面とセキュリティ」→「指紋認証」をタップする
- 2 登録されている指紋をスキャンまたは「バックアップパスワード」をタップしてバックアップパスワードを入力する
- 3 「編集」をタップする
- 4 削除する指紋にチェックを付けて「削除」をタップする

バックアップパスワードを変更する

指紋認証の代用のパスワードを変更することができます。

- 1 設定画面で「ロック画面とセキュリティ」→「指紋認証」をタップする
- 2 登録されている指紋をスキャンまたは「バックアップパスワード」をタップしてバックアップパスワードを入力する
- 3 「バックアップパスワードを変更」をタップする
- 4 新しいパスワードを入力して「続行」をタップする
- 5 もう一度パスワードを入力してから「OK」をタップする

Galaxyアカウントパスワードを検証する

指紋を使用してGalaxyアカウントパスワードを検証します。たとえばGalaxy Appsからコンテンツを購入するときにパスワードの代わりに指紋を使用することができます。

- 1 設定画面で「ロック画面とセキュリティ」→「指紋認証」をタップする
- 2 登録されている指紋をスキャンまたは「バックアップパスワード」をタップしてバックアップパスワードを入力する
- 3 「Galaxyアカウントを認証」スイッチをタップして有効化する
- 4 Galaxyアカウントにサインインする

指紋を使用してアカウントにサインインする

パスワードの保存をサポートするWebページに指紋を使用してサインインできます。

- 1 設定画面で「ロック画面とセキュリティ」→「指紋認証」をタップする
- 2 登録されている指紋をスキャンまたは「バックアップパスワード」をタップしてバックアップパスワードを入力する
- 3 「Webサインイン」スイッチをタップして有効化する
- 4 サインインに指紋を使用し、以降、画面の指示に従って設定する

プライバシーと安全

オプション

プライバシーと安全の管理の設定を変更します。

設定画面で「プライバシーと安全」をタップします。

- ・ **位置情報**:位置情報の権限設定を変更します。
- ・ **プライベートモード**:プライベートモードを有効化して個人のコンテンツへの外部からのアクセスを禁止します。詳細は、「[プライベートモード](#)」を参照してください。
- ・ **診断情報を報告**:本機から診断情報と使用情報をGalaxyに自動的に送信するように設定します。
- ・ **SOSメッセージを送信**:電源キーを3回押すとヘルプメッセージを送信するように本機を設定します。メッセージと共に録音内容も送信先に送ることができます。詳細は、「[SOSメッセージを送信する](#)」を参照してください。

プライベートモード

本機内の個人のコンテンツを他者からアクセスできないようにします。

プライベートモードではギャラリー、ビデオ、ミュージック、ボイスレコーダー、マイファイル、ブラウザのアイテムを隠すことができます。

プライベートモードを有効化する

- 1 設定画面で「プライバシーと安全」→「プライベートモード」をタップしてからスイッチをタップして有効化する

プライベートモードを最初に有効化するときは、画面の指示に従ってプライベートモードアクセスコードを設定してください。

- 2 画面の指示に従って現在のプライベートモードアクセスコードを入力する

プライベートモードが有効化され、ステータスバーに  アイコンが表示されます。



プライベートモードが有効化されているときのみ、隠されたアイテムを参照したりアクセスしたりできます。プライベートフォルダに保存されているアイテムを隠すにはプライベートモードを無効化します。

コンテンツを隠す

- 1 アプリ画面でアイテムを隠すアプリを起動する

- 2 アイテムを選択して「その他」→「プライベートに移動」をタップする

プライベートモードが有効化されていない場合は画面の指示に従って現在のプライベートモードアクセスコードを入力します。

選択されたアイテムがプライベートフォルダに移動します。

隠されたコンテンツを閲覧する

プライベートモードが有効化されているときのみ、隠されたアイテムを参照できます。

- 1 設定画面で「プライバシーと安全」→「プライベートモード」をタップしてからスイッチをタップして有効化する
- 2 画面の指示に従って現在のプライベートモードアクセスコードを入力する
- 3 アプリ画面で「Tools」→「マイファイル」→「プライベート」をタップする
プライベートフォルダに移動したアイテムが画面に表示されます。ブックマークはブラウザアプリで参照できます。

隠されたコンテンツを見えるようにする

- 1 プライベートフォルダで項目をロングタッチしてから、見えるようにするアイテムにチェックを付ける
- 2 「その他」→「移動」をタップする
- 3 移動先のフォルダを選択して「ここに移動」をタップする
アイテムが選択したフォルダに移動します。

プライベートモードを自動的に解除する

画面をOFFにしたときに自動的にプライベートモードが解除されるように設定できます。

- 1 設定画面で「プライバシーと安全」→「プライベートモード」をタップしてからスイッチをタップして有効化する
- 2 画面の指示に従って現在のプライベートモードアクセスコードを入力する
- 3 「自動解除」スイッチをタップして有効化する



「自動解除」オプションが有効化されている場合、ファイル転送中に画面がOFFになるとファイル転送が失敗します。

SOSメッセージを送信する

緊急時に電源キーをすばやく3回押します。メッセージが主要連絡先に送信されます。メッセージには位置情報が含まれます。

- 1 設定画面で「プライバシーと安全」→「SOSメッセージを送信」をタップしてからスイッチをタップして有効化する
- 2 連絡先が登録されていない場合は画面の指示に従って登録します。

主要連絡先を追加する

設定画面で「プライバシーと安全」→「SOSメッセージを送信」→「メッセージの送信先」→「追加」をタップします。「連絡先を登録」をタップして連絡先情報を入力、または「連絡先から選択」をタップして既存の連絡先を主要連絡先として追加します。

かんたんモード

かんたんモードでは、シンプルなホーム画面のレイアウトと大きなアイコンにより操作しやすくなります。

かんたんモードへの変更

- 1 設定画面で「かんたんモード」→「かんたんモード」をタップする
- 2 「かんたんアプリケーション」の下のアプリを選択してシンプルなレイアウトを適用する
- 3 「完了」をタップする

標準モードに戻る

ホーム画面上で左にスワイプして「設定」→「かんたんモード」→「標準モード」→「完了」をタップします。

ショートカットを管理する

アプリへのショートカットをホーム画面に追加するには、左側にスワイプして  をタップしてからアプリを選択します。

連絡先へのショートカットをホーム画面に追加するには、右側にスワイプして  をタップします。

ホーム画面からショートカットを削除するには、「編集」をタップしてアプリまたは連絡先の  を選択し、「削除」をタップします。

ユーザー補助

本機を使いやすくするためのさまざまな設定があります。詳細は、付録の「ユーザー補助」を参照してください。

設定画面で「ユーザー補助」をタップします。

アカウント

同期させるGalaxyアカウントやGoogleアカウントなどを追加します。

アカウントを追加する

アプリの中にはアカウントの登録が必要なものがあります。本機を有効に活用するためにアカウントを作成しましょう。

- 1 設定画面で「アカウント」→「アカウント追加」をタップする
- 2 アカウントサービスを選択する
- 3 画面の指示に従ってアカウントの設定を実施する

コンテンツをアカウントと同期させるには、アカウントを選択してから同期させるアイテムを選択します。

Galaxyアカウントを登録

Galaxy Appsを使用するときはGalaxyアカウントが必要です。本機に保存されているデータをGalaxyアカウントにバックアップしたり復元したりできます。Galaxyサービスが使いやすいように本機にGalaxyアカウントを登録しましょう。

- 1 設定画面で「アカウント」→「アカウント追加」をタップする
- 2 「Galaxyアカウント」をタップする
- 3 画面の指示に従ってアカウントの設定を実施する

Galaxyアカウントを登録すると、Galaxyアカウントを必要とするアプリをサインインしないで使用できるようになります。

アカウントを削除する

設定画面で「アカウント」をタップして、アカウント名をタップして削除するアカウントを選択してから、「その他」→「アカウントを削除」をタップします。

バックアップとリセット

設定とデータを管理するための設定を変更します。

設定画面で「バックアップとリセット」をタップします。

- データのバックアップ: ユーザー固有の情報とアプリデータをGalaxyサーバーにバックアップします。自動的にバックアップするように設定することもできます。
- 復元: 以前にバックアップしたユーザー固有情報やアプリデータをGalaxyアカウントから復元します。
- バックアップアカウント: Googleバックアップアカウントを設定または編集します。
- データのバックアップ: 設定とアプリデータをGoogleサーバーにバックアップするように設定します。
- 自動復元: アプリが再インストールされたときにGoogleサーバーから設定とアプリデータを自動的に復元するように設定します。
- 工場出荷状態に初期化: 設定を工場出荷時の値にリセットし、すべてのデータを削除します。

言語と文字入力

文字入力の設定を変更します。言語によって、選択できないオプションがあります。設定画面で「言語と文字入力」をタップします。

- ・ **言語**:すべてのメニューとアプリに使用される表示言語を選択します。
- ・ **標準キーボード**:文字入力のための標準キーボードを選択します。
- ・ **Galaxy日本語キーボード**:Galaxy日本語キーボードの設定を変更します。
- ・ **Google音声入力**:音声入力の設定を変更します。
- ・ **音声入力**:標準の音声入力サービスを選択します。個々のサービスの設定を変更することもできます。
- ・ **音声読み上げオプション**:読み上げ設定を変更します。
- ・ **ポインター速度**:本機に接続されたマウスやトラックパッドのポインター速度を調節します。

バッテリー

バッテリー残量情報の参照と省電力オプションの変更を行います。設定画面で「バッテリー」をタップします。



残り使用時間はバッテリー残量がなくなるまでの時間を示します。残り使用時間は本機の設定や動作状況により変わります。

- ・ **バッテリー残量**:本機で消費したバッテリーを表示します。
- ・ **省電力モード**:省電力モードを有効化し、省電力モードの設定を行います。詳細は、「[省電力モード](#)」を参照してください。
- ・ **ウルトラ省電力モード**:よりシンプルなレイアウトによる表示とアプリの使用の制限により、スタンバイ時間を延長しバッテリー消費を削減します。詳細は、「[ウルトラ省電力モード](#)」を参照してください。
- ・ **大量のバッテリー消費**:バッテリー消費が多いアプリの一覧を表示します。

ストレージ

本機のメモリー情報を参照します。

設定画面で「ストレージ」をタップします。



OSと標準アプリがメモリーの一部を使用するため、実際に使用できる内部メモリーの容量は指定容量よりも小さくなります。またデバイスの更新により使用可能容量が変化する場合があります。

日付と時刻

以下の設定を変更することにより日付と時刻の表示方法を変更できます。

設定画面で「日付と時刻」をタップします。



バッテリー残量がなくなると、日付と時刻はリセットされます。

- ・ **自動日時設定**:異なるタイムゾーンに移動したときに日付と時刻を自動的に更新します。
- ・ **自動タイムゾーン**:異なるタイムゾーンに移動したときにネットワークからタイムゾーン情報を受信するように設定します。
- ・ **日付設定**:現在の日付を手動で設定します。
- ・ **時刻設定**:現在の時刻を手動で設定します。
- ・ **タイムゾーンを選択**:ホームタイムゾーンを設定します。
- ・ **24時間形式を使用**:時刻を24時間表記に切り替えます。
- ・ **日付の表示形式を選択**:年月日の表記方法を選択します。

端末情報

端末情報の確認、デバイス名の編集、ソフトウェア更新などを行います。
設定画面で「端末情報」をタップしてください。